

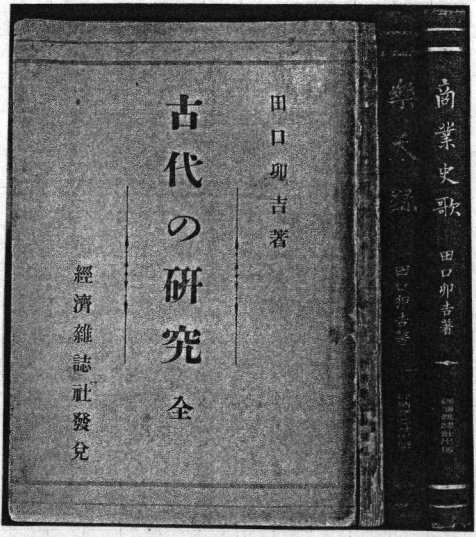
田口卯吉 タケウチ ヨシキチ 史論家、經濟學者、法學博士。安政二年四月（二十九日）江戸生れ、明治二十八年四月十二日没（八五—九五）。講筈、字々玉。號鼎軒、鼎軒逸人、筆名史海子、鼎等。明治二年清津共學校の學ぶ。

五年大藏省翻譯局の英語、經濟學を修むる。七年紙幣寮出仕、十一年辭官。翌年「東京經濟雜誌」を、二十四年「史海」を創刊主宰。また南島商會等の經營、二十七年の衆議院議員となるなど政財界のごと活動。教育家木村銀十の實弟。「鼎軒田口卯吉全集」全八卷（昭和二年—四年刊）がある。

著書「日本開化小史」全六冊（卷之一・明治十年九月自版、丸屋善七等五書肆賣弘。再刊一再版・大正六年一月二十日經濟雜誌社、昭和四年二月二十日改造社「改造文庫」、嘉治隆一校註・九年七月十五日岩波書店「岩波文庫」）、「内外大家論叢集」（田口字吉名、合著・片岡綱紀編、明治十二年五月出版局・山中市共衛出版）、「日本開化之性質」一名社會改良論（青木恒三郎編、明治十九年一月十五日大阪・青木嵩山堂、經濟雜誌社發賣）、「國民之友・第一集」（合著、明治二十年十一月十日田捨吉編輯、大阪・國友館）、附註「實地演說集」（合著・櫻井謙造編、明治二十一年二月）、「白石傳七自刊、正文堂發賣）、

「日本外史下讀史餘論」（明治二十年）、「日本經濟雜誌社」、五年十月十七日「本史學新説」（合著・廣池千九郎監

修、明治二十五年十一月十日）、「本史學普及雜誌社）、「樂天録」（明治



三十二年六月十八日經濟雜誌社)、
三十五年名家語錄(合著・平田骨
仙撰、明治三十二年十月十二日平田勝馬刊、
鐵華書院)、
日商業史歌(明治三十四年六月、
二十九日經濟雜誌社)、
日古代の研究(明治三十五年十月十五日經濟雜誌社)等。